

LMcorsa レースレポート：SUPER GT 公式テスト・スポーツランド SUGO

LM corsa Super GT, Racing Reports 2017 Vol.6

Official Test：SPORTS LAND SUGO. 2017/06/17-18

General comment

今シーズンの AUTOBACS SUPER GT シリーズは、岡山国際サーキットで 4 月 9 日（日）に幕を開け、第 2 戦富士スピードウェイ、第 3 戦オートポリスと全 8 戦中 3 戦を終えている。LMcorsa は、今シーズン新型車両「SYNTIUM LMcorsa RC F GT3」を投入し熱い戦いを繰り広げ、3 戦連続で完走を果たして第 2 戦では 8 位入賞を果たした。これによりチームは、レース参戦のシード権で C グループのチームのうち第 1 戦と第 2 戦の両大会において最多のチームポイントを獲得したチームとして、7 月 22、23 日にスポーツランド SUGO で開催される第 4 戦の出場権利を得ている。

そして、新型車両のデータを着実に蓄積しながら調子を上げてきているチームは、第 4 戦の舞台となるスポーツランド SUGO で 6 月 17、18 日に開催された公式テストに参加した。

チームは、今回の公式テスト前には 6 月 6、7 日に鈴鹿サーキットで開催されたタイヤテストにも参加し、タイヤとのマッチングで好感触を得ていい状態で SUGO 入りしていた。テストは、各日 2 セッションの計 4 セッションで行われ、セッション 1 と 3 が 2 時間、セッション 2 と 4 が 3 時間となる。

初日の 17 日・土曜日から多くの SUPER GT ファンがスポーツランド SUGO を訪れ、大観衆の前で公式テストは午前 9 時にスタート。

セッション 1 のドライブを担当したのは、鈴鹿のタイヤテストでもドライブした飯田章。テストプログラムをこなしながら、ピットイン・アウトを繰り返しながら周回をこなしていくが、5 回の赤旗中断があったため予定通りにいかなかった部分もあった。最終的に飯田は 46 周を走行し、37 周目にマークした 1 分 19 秒 872 がベストタイムとなった。

午後のセッション 2 をメインで担当したのは吉本大樹。吉本は、鈴鹿でのタイヤテストに参加していないため、この走行が第 3 戦から約 1 カ月ぶりのドライブとなる。吉本はタイヤテストを中心に、マシンのさまざまな部分の確認作業を行っていき計 64 周を走行し、32 周目の 1 分 20 秒 002 がベストタイムとなった。

その後、再び飯田がドライブを担当してブレーキテストなどを行っていき、チームは公式テスト初日のプログラムを終えた。

翌 18 日の日曜日は、朝からサーキット上空には厚い雲が広がり、長袖が必要となる肌寒い 1 日となる。そして、この日の午前中もドライブを担当したのは飯田で、前日に引き続きテストプログラムをこなしていく。

ただ、このセッション 3 も赤旗中断が 3 回ありプログラムは若干押し気味で進められた中で、飯田は 43 周を走行してベストタイムは 33 周目に記録した 1 分 19 秒 168。

午後のセッション 4 は、今回のテストの総仕上げとなるためチームはミニレースシミュレーションを行い、両ドライバーともロングランを敢行。

しかし、吉本がドライブを担当したときに赤旗中断が発生し、途中で途切れる場面もあったが順調に周回を重ねる。最終的に飯田が 53 周、吉本が 56 周と 2 人の周回数は計 109 周。タイヤも数種類をテストすることができるなど、チームは中盤戦に向けて有意義なテストとなった。

この結果にチームの雰囲気は明るく、ムードもこれまで以上に良くなっている。

第 4 戦 SUGO までに、公式テストとタイヤテストとあと 2 回テストもあるため、シリーズ中盤戦に向けてチームはさらにマシンを煮詰めていくことになる。

なお次回の公式テストは、鈴鹿サーキットで 6 月 30 日 (金)、7 月 1 日 (土) に開催される。

18 日 (土) 1 日目総合結果／クラス 20 位

セッション 1 飯田章 1 分 19 秒 872 (37 周目／46 周) ／クラス 12 位

セッション 2 吉本大樹 1 分 20 秒 002 (32 周目／88 周) ／クラス 21 位

19 日 (日) 2 日目総合結果／クラス 9 位

セッション 3 飯田章 1 分 19 秒 168 (33 周目／43 周) ／クラス 7 位

セッション 4 飯田章 1 分 19 秒 644 (21 周目／53 周) ／クラス 18 位

ドライバー／飯田章

前回の鈴鹿でのタイヤテストも含め、レース中盤戦に向けていいデータは取れています。2 日目にはロングランも行えたことで、タイヤの方向性もしっかり見えてきているので、次につながるテストだったと思います。かなり良くなっているので残りのテストでも走り込み、7 月にここ SUGO で行われるレースから巻き返しを図っていきたいですね。

ドライバー／吉本大樹

鈴鹿で飯田選手が乗ったときの感触が良かったと聞いていたので、今回のテストで走れることを楽しみにしていました。実際に走ってみて、着実に進化していることを実感できましたね。ロングランもタイヤテストも十分にできましたが、まだまだやりたいことは山のようにあります。次のテストでは、細かい部分を詰めていくための環境作りにチカラを注いでいきたいと思います。

監督／小藤純一

今回のテストはいい感じでメニューをこなすことができ、かなり有意義な 2 日間になりました。本番の距離の 2/3 レースシミュレーションもでき、ドライバーだけでなくメカニック側のシミュレーションも行え、タイヤもレース想定で試すことができました。今回は予選を想定したタイムアタック的なことはしていないので、タイムよりもテスト内容を重視しましたので。いまは大きい事柄を決めていくためのテストであり、残り 2 回のテストで最終的に細かい部分を仕上げていきます。確実にいい方向へ進化していますが、ライバルも同じように進化しているはずなので、残るテストも気を引き締めて望みたいと思います。